

ちばの博物館

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/>

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

首都圏のオアシスを目指して —市原湖畔美術館—

市原湖畔美術館は、平成25年8月にリニューアルオープンしました。里山に囲まれた市原市南部に位置する高滝湖に面する絶好のロケーションで、晴れた日には芝生広場でピクニックを楽しむ家族の姿もあります。平成25年4月に開通した首都圏中央連絡自動車道のおかげで、都心から約60分で来れる距離となり、「この距離でこんなにも自然にあふれた場所に来られるとは」という驚きの声もよく聞くものです。とにかく自然に囲まれていること、それが当館の一番の特徴かもしれません。



前身の市原市水と彫刻の丘は、平成7年に開館した「美術館」とは呼びがたい施設でした。美術の展示に適した空間とすること、設備の老朽化を対策することを目的に、改修計画が進んだ背景には市原市の新たな政策があります。平成25年で市制50周年を迎えた市原市は、次の50年に向けてアートを軸とした地域・観光振興へ主眼をおきはじめました。今年3月～5月に開催される「中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス」もその一環です。本芸術祭の主要拠点としても機能すべく、現代アートを中心とした展示を行う美術館として生まれ変わるようになったのです。

改修設計にあたっては、伊東豊雄氏を審査員長に迎えたオープン・コンペティション方式がとられました。応募総数231件の中、設計を担当したのは、既存の構造体をうまく生かした案を出した有設計室 / 川口有子 + 鄭仁愉です。回遊性のある構造体を残し、周囲の自然環境との連続性のある作りになっています。

改修にあたって、国内外の現代美術家による5つの恒久展示作品も設置されました。いずれも空間と一体化したサイトスペシフィックな作品で、来館者を楽しませています。

美術館のコンセプトには、「地域に開かれた美術館であること」「首都圏のオアシスを目指すこと」「新たな感覚を体験すること」を掲げています。展示以外にも、特に子ども向けの数多くのワークショップを開催しています。ようやく「地元の常連さん」も増えてきたところです。美術館とはどういう場所であるべきか、問い直しながら運営に努めていきます。



▲アコンチ・スタジオ(ヴァイト・アコンチ+フランシス・ピート+ジュリアン・ローズ)
「MUSEUM- STAIRS/ ROOF OF NEEDLES&PINS」2013年



▲KOSUGE1-16「Heigh-Ho」2013年
photograph©Tadashi Endo

も
く
じ

- 加盟館紹介 市原湖畔美術館…… 1
- 平成25年度千葉県文化財管理指導講習会報告…… 5
- 「博物館収蔵資料を次世代に引き継ぐシステム構築」事業報告…… 2・3
- 行事案内(春～秋)…… 6
- 平成25年度千葉県博物館協会研修会に参加して…… 4
- 展覧会案内…… 7
- 日誌抄・編集後記…… 8

No. **133**
2014.3.31

「博物館収蔵資料を次世代に引き継ぐシステム構築」事業報告

千葉県立中央博物館・地域振興委員会

博物館収蔵資料が被災した場合の救済体制を構築するため、千葉県立中央博物館は千葉県博物館資料救済体系構築実行委員会を組織し、千葉県博物館協会と連携して、平成24・25年度の2か年で事業を実施してきました。

今年度は千葉県博物館協会地域振興委員会での検討や学芸員会議での意見交換を行い、12月及び3月の千葉県博物館協会役員会において事業の報告を行いました。また、作成した救済活動を効率的に行うための県内地域ブロック化や救済活動のフローの案については、合意形成に向けて各加盟館園にも丁寧な説明を重ねてきました。

今後は、報告書にまとめた成果を千葉県博物館協会が引き継ぎ、博物館資料救済体系の発足に向けて取り組んでまいります。

1 事業の目的

本事業は、東日本大震災（平成23年3月11日）において被災した陸前高田市立博物館等の経験を踏まえ、県内博物館の学芸員等職員が、被災博物館資料を迅速・適切に救済する体系を構築するとともに、博物館資料が地域の自然・歴史・文化を記録する貴重な地域の資産であることを、広く県民・市民に周知することを目的とするものです。実施に当っては、千葉県博物館協会に加盟する美術館・博物館・動植物園等（計79館）を中核とする県内博物館全体のネットワークを駆使し、



▲公開シンポジウム(平成25年2月28日・千葉県立中央博物館)

被災博物館の救援にあたる体系構築を目指します。

2 事業の実施経過

平成24年度

- (1) 有事の際、資料救済計画を迅速に立案するため、全加盟館園の①収蔵資料の属性、②台帳の保存媒体、③職員の専門分野と人数、④一時保管場所の有無、を調査し、基礎データ集を作成しました。
- (2) 千葉県博物館協会地域振興委員会会議を2回開催し、事業の進め方について意見交換を行いました。
 - ・第1回 8月27日(月) 於千葉県立美術館
 - ・第2回 1月23日(水) 於千葉県立中央博物館
- (3) 千葉県博物館協会加盟館の学芸員会議を3回開催し、博物館資料救済体系の骨子について意見交換を行いました（於中央博物館）。
 - ・第1回10月18日(木) 参加21名
 - ・第2回 1月23日(水) 参加25名
 - ・第3回 2月28日(木) 参加20名
- (4) 東日本大震災で被災した博物館及び資料救済に当たった博物館を視察し、関係者から、当時の経緯、現状と今後の課題等について学びました（当協会報No.131で報告）。
 - ・11月15～16日 岩手県立博物館・陸前高田市立博物館等（参加7名）
- (5) 博物館資料救済の必要性を県内に周知するため、東北地方の博物館職員を演者に招いて公開シンポジウム「博物館資料はなぜ救済されなければならないのか？－東日本大震災の教訓－」を千葉県教育委員会との共催で開催しました。
 - ・2月28日(木) 於中央博物館 参加者：89名
 - 演者：陸前高田市立博物館 熊谷 賢氏
 - 岩手県立博物館 大石雅之氏
 - 福島県立博物館 竹谷陽二郎氏

○実施の成果

県内の博物館関係者間で、大規模災害時の資料救済について、次のようなイメージを共有することが

印刷物



のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・
ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク

〒273-0015船橋市日の出2-2-13第2ナカイビル102
営業時間/9:00～18:00 定休日/日曜・祝日

TEL.047(437)6208



関東産業株式会社
KANTO KOGYO Co., Ltd.

博物館、美術館資料の

保存環境調査及びコンサルタント

専用くん蒸庫完備

〒261-0002

千葉市美浜区新港58-2

TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080

http://www.kan-ko.co.jp

水族館・動物園等の企画/デザイン・設計・施工・管理
ONY KOBO CO., LTD.
株式会社 鬼工房
東京本社：東京都千代田区神田神保町 2-48
011-0051 111-03-3221 1102 FAX 03-3221-1185

できました。

①平時の準備体制のイメージ

- ・ 県内博物館の地域ブロック化と各ブロックの中心となる中核館、全ブロックをとりまとめるセンター館の設置
- ・ 資料台帳データの共有化
- ・ 有事の資料の取扱いについての事前協定
- ・ 博物館資料を救済する意義の普及啓発

②有事、一次レスキュー体制のイメージ

- ・ センター館に資料救済に関する「総合対策本部」設置
- ・ 被災館を含む地域ブロック内の中核館に「現地対策本部」設置
- ・ 非被災ブロックの中核館に「地域連絡本部」設置
- ・ 総合対策本部は現地対策本部・地域連絡本部と協力し、被災館の資料救済計画を立案
- ・ 救済計画に基づき、該当する専門分野の職員を有する館に派遣依頼
- ・ 救済計画に基づき、一時保管場所を有する館に、被災資料受け入れを依頼
- ・ 派遣職員による救済活動始動

③有事、二次レスキューの体制イメージ

- ・ 必要な機材や学芸員を擁する大型館において脱塩・洗浄・乾燥・滅菌等を長期的に実施

平成25年度

(1) 実行委員会会議を3回開催し、事業の進捗状況、検討内容について確認、助言を受けました(於中央博物館)。

- ・ 第1回9月13日(金) ・ 第2回12月13日(金)
- ・ 第3回2月28日(金)

(2) 千葉県博物館協会地域振興委員会会議を6回開催し、事業の進め方、千葉県博物館協会役員会との調整について意見交換を行いました。

- ・ 第1回9月6日(金) 於中央博物館
- ・ 第2回10月11日(金) 於千葉県立現代産業科学館
- ・ 第3回11月5～12日(メールでの会議)
- ・ 第4回12月13日(金) 於中央博物館
- ・ 第5回1月14日～24日(メールでの会議)
- ・ 第6回2月6日(木) 於国立歴史民俗博物館



▲県内博物館学芸員会議(平成26年2月21日・千葉県立中央博物館)

(3) 千葉県博物館協会加盟館の県内博物館学芸員会議を4回開催し、県内博物館の地域ブロック化、有事の際の資料救済フロー、報告書の作成等について意見交換を行いました(於中央博物館)。

- ・ 第1回9月27日(金) 参加23名
- ・ 第2回10月25日(金) 参加23名
- ・ 第3回11月22日(金) 参加28名
- ・ 第4回2月21日(金) 参加15名

(4) 千葉県博物館協会役員会会議において2回の事業の経過説明を行いました。

- ・ 第1回12月20日(金) 於八千代市立郷土博物館
- ・ 第2回3月20日(木) 於中央博物館

(5) 千葉県教育委員会主催の千葉県美術館・博物館等職員研修会で、県内の博物館関係者に本事業の趣旨説明を行いました。

- ・ 2月28日(金) 於中央博物館 参加者54名

○実施の成果

- ①千葉県博物館協会加盟館(79館)の地域ブロック化(案)を作成することができました。
- ②資料救済の際の総合対策本部となり得るセンター館、サブセンター館の候補を設定することができました。
- ③被災した際の救済活動のフロー(案)を作成することができました。
- ④資料救済体系発足に向けての流れを確認することができました。

※本事業の報告書は、千葉県博物館協会加盟館並びに県内の全市町村及び教育委員会に配布しています。

ぬいぐるみの製造、販売
株式会社 エスティー



可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。
オリジナル商品の開発、生産も承ります。

www.auroraworld.jp

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査

文化財保存の
エキスパート

NECC 環境コントロールセンター

【本社】(現境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402
URL http://www.e-c.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板
道路標識・街路表示板・観光絵看板
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224
E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

平成25年度千葉県博物館協会研修会に参加して

千葉市美術館 学芸課長 田辺昌子

平成25年9月6日(金)に、平成25年度の千葉県博物館協会研修会が、佐倉市立美術館で開催された。「今、博物館に求められるもの—設置基準改正を受けて—」をテーマに、立正大学文学部特任教授阪田正一氏による講演会の聴講を中心とした研修で、さらに佐倉市立美術館の施設の概要説明、また希望者には美術館周辺の武家屋敷等の案内があり、有意義な一日であった。

平成23年12月20日付けで、博物館法(昭和26年法律第285号)第8条に基づく「博物館の設置および運営上の望ましい基準」(文部科学省告示第165号)が告示され、同日から施行されている。これは(1)平成20年の博物館法改正、(2)利用者のニーズの多様化・高度化(3)博物館の運営環境の変化などを踏まえ、従来の「公立博物館の設置及び運営の望ましい基準」(平成15年6月6日文部科学省告示第113号)の全部を改正したということだが、我々は現場に身を置きながら、なかなかこの改正の意義を理解し、これを踏まえた上で事業を行なうに至っていないというのが大方の現状であろう。



▲講演中の阪田正一氏

阪田氏の講演では、昭和48年告示・平成10年改正の基準、平成15年告示の基準、そして新たな平成23年の基準を資料として配布した上で、その変化を具体的に指摘し、博物館に求められるものが大きく変容していることを解説された。旧基準の細部に渡る規制が緩和される一方で、新しい基準では、資料を適切に管理、展示するといった博物館の基本的な機能だけでなく、より広い視野に立って、教育、学術、文化の発展に寄与し、博物館の活動が地域の活性化につながるということが強く求められている。

また事業計画の策定と公表なども盛り込まれ、利用者の要請に留意しつつ、自己評価、外部評価を行ない、

インターネットなどを通じてそれを公表することなどが求められている点も、昨今の社会的見識に合わせたものであろう。同時に常設展の計画的な更新が明文化されていることは、展示についても停滞することのない発展的なイメージが求められていると思える。

まったく新しいのは、利用者に対応したサービスの提供という条項で、高齢者や障がい者、幼児や外国人が円滑に施設を利用できるように配慮するよう要請されている。ベビーカーの貸与や、外国人や青少年向け解説資料の作成配布といったかなり具体的な記述がある点も留意されるであろう。

全体として、改正された設置基準は、昨今の社会情勢や傾向に合わせた内容で、地域に開かれ、貢献することが一層求められていることがわかる。加盟館によってそれぞれ設置状況の違いがあり、同様にこの基準に応じることは難しいと思うが、少なくとも公の施設として、今日指すべき博物館イメージを理解することができたと思う。

午前中の希望者参加による周辺見学では、佐倉市教育委員会文化課文化財班長宍戸氏による案内で、幕末の武家屋敷および国指定重要文化財の旧堀田邸(最後の佐倉藩主であった堀田正倫の明治時代の屋敷)を見学した。武家の生活が偲ばれる武家屋敷や、広大な堀田家の屋敷が保存公開されていることは、大変興味深かった。また講演会後には、佐倉市立美術館の施設概要を前川公秀館長にご案内いただき、次の日の展覧会オープンを前にした「佐倉・房総ゆかりの作家たち展—銅版画の表現」および「佐倉・城下町400年記念事業 ふたつの佐倉城」の会場なども見学させていただいた。



▲午前中に行われた武家屋敷の見学

平成25年度千葉県文化財管理指導講習会「歴史文化基本構想とその周辺」

平成25年11月12日(火)に千葉県立中央博物館にて、平成25年度千葉県文化財管理指導講習会が開催された。「歴史文化基本構想」と都市計画との関係を紹介し、周辺環境も含めた文化財の総合的な保存・活用の推進を図り、講演、報告、および総合討論が行われた。

■講演「歴史文化基本構想について」

梅津章子氏(文化庁文化財部参事官(建造物担当) 伝統的建造物群部門文化財調査官)



▲梅津章子氏講演

「歴史文化基本構想」の解説にあたり、まず日本の文化財行政について、保護法による分類や保護法の歴史といった基礎知識の説明があり、文化審議会における歴史文化基本構想策定の経緯と提言内容が説明された。そして、沖縄県南城市の事例とともに、関連文化財群、歴史文化保存活用区域の考え方、指定の有無や類型の違いにかかわらず、文化財の価値を総合的に把握して、関連する文化財、周辺環境とともに保護・活用していくという構想の目的が説明された。構想策定の明確な目的や方針、具体的施策など、各地方公共団体が構想を策定する際の指針が示され、最後に策定後の事例として、北秋田市の活動が紹介された。

■講演「まちづくりと文化財—歴史文化基本構想や歴まち法を活かしたまちづくりについて—」

後藤治氏(工学院大学建築学部建築デザイン学科教授)



▲後藤治氏講演

文化財とまちづくりに関わる3つの法律、文化財保護法、景観法、歴史まちづくり法の解説から始まり、文化財のリスト化と登録の有用性が説か

れ、高知県奈半利町、秋田県横手市増田町の登録文化財を活かしたまちづくりの例が紹介された。文化財をまちづくりに活かすためには、活用することが有効であり、今後、住民やNPOがその活動の担い手となり、活動への支援や仕組みづくりを行うことが国や地方公共団体の重要な役割となるとの見解が示され、文化財(歴史的建造物)の具体的な活用例として、富山県富山市の森家住宅が紹介された。続いて、歴史まちづくりの実態として、重要伝統的建造物群保存地区での修理、修景の例、電柱対策、路面整備、空き家の活用の例が示され、歴史まちづくり法の運用実態の説明があり、最後に、川崎市の歴史文化基本構想策定の事例を紹介しながら今後の課題、展望が示された。

「歴史文化基本構想」の解説にあたり、まず日本の文化財行政について、保護法による分類や保護法の歴史といった基礎知識の説明があり、文化審議会における歴史文化基本構想策定の経緯と提言内容が説明された。そして、沖縄県南城市の事例とともに、関連文化財群、歴史文化保存活用区域の考え方、指定の有無や類型の違いにかかわらず、文化財の価値を総合的に把握して、関連する文化財、周辺環境とともに保護・活用していくという構想の目的が説明された。構想策定の明確な目的や方針、具体的施策など、各地方公共団体が構想を策定する際の指針が示され、最後に策定後の事例として、北秋田市の活動が紹介された。

■報告「景観計画と歴まち法」

菊池隆氏(県土整備部都市整備局公園緑地課景観づくり班主査)

景観法と景観計画について、内容の解説と、地域産業、観光、住民活動への効果が説明され、建造物の色、高さ、配置など、商業地および歴史的まち並みの景観形成基準の例が示された。また「景観重要建造物」指定の有用性、景観形成の取り組みの効果と事例が示された。続いて歴まち計画(歴史的風致維持向上計画)について、内容の解説、景観計画との違い、事例の紹介があった。長野県下諏訪町の事例をあげ、景観・歴史まちづくりを進めるにあたり、教育、観光振興・商工、都市計画・建設の各部門、および住民が連携して行う体制づくりの必要性が説かれた。

■総合討論

梅津章子氏、後藤治氏、菊池隆氏、司会・渡邊修一氏

各講演者、報告者の補足説明の後、文化的景観と歴史的建造物に関する変更の申請先など、会場からの質問に答える形で討論が進んだ。



▲総合討論

春～秋 の催し

館名・行事の種類	行事名	開催期間・期日	館名・行事の種類	行事名	開催期間・期日
●我孫子市鳥の博物館	展覧会 日本 <small>の</small> 鳥展 ～鳥の見わけかた～	TEL 04-7185-2212 開催中～6月29日	●千葉経済大学地域経済博物館	展覧会 常設展示「江戸地廻り経済圏と房総の名主たち」 通年 ※企画展示期間を除く	TEL 043-253-9111
●市原湖畔美術館	展覧会 いちはらアート×ミックス Collective Memories-記憶の集積-	TEL 0436-98-1525 開催中～5月31日	●千葉県立現代産業科学館	その他イベント等 GW科学館フェア 4月26日～5月6日	TEL 047-379-2000
その他イベント等	芸術祭参加作家 岡博美染色ワークショップ 4月6日 -菜の花でハンカチスカーフをつくろう-		展覧会 ひらけ 未来のドア! 2014(展示-運営協力会展示会) 7月18日～27日		
その他イベント等	墨の藝術シリーズ1「360度の山水画ワークショップ」by 保科豊巳 4月13日、5月3日		その他イベント等 プラネタリウム上映会 8月6日～17日(未定)		
●いすみ市郷土資料館	展覧会 静遥風景画展(仮称) 4月19日～7月6日	TEL 0470-86-3708	●千葉県立関宿城博物館	展覧会 コーナー展「浮世絵に描かれた富士山」 4月22日～6月1日	TEL 04-7196-1400
展覧会	原叶人絵画展(仮称) 7月19日～9月28日		展覧会 2014国際博物館の日記念事業 昔のくらし展 5月8日～6月29日		
●市川市吉澤ガーデンギャラリー	展覧会 明和電機 エーデルワイス展 4月19日～6月1日	TEL 047-374-7687	展覧会 パネル展「写真で見る日本の城」 7月1日～10月2日		
●伊能忠敬記念館	展覧会 第78回収蔵品展 開催中～5月中旬	TEL 0478-54-1118	●千葉県立中央博物館	展覧会 水辺の記憶-写真家辰原雄のまなざし- 開催中～5月25日	TEL 043-265-3111
展覧会	第1回企画展「完全公開測量器具」(仮称) 5月下旬～7月中旬		展覧会 クジラ化石、ネギ畑から出現 5月24日～6月22日		
展覧会	第79回収蔵品展 7月下旬～9月中旬		展覧会 いきもの図鑑展 -ダーウィンから手塚治虫まで- 7月19日～10月13日		
●印西市立印旛歴史民俗資料館	その他イベント等 大福帳をつくってみよう 8月23日	TEL 0476-99-0002	●千葉県立美術館	※千葉県立美術館は耐震工事中のため平成27年3月末まで休館。	TEL 043-242-8311
講演会・講座等	下総台地西部の松林と薪炭生産-明治10年代 9月14日		展覧会 千葉県移動美術館(仮称)会場①浦安市民プラザ 7月25日～8月11日		
●御宿町歴史民俗資料館	展覧会 海難救助 友好の絆展(仮称) 未定	TEL 0470-68-4311	展覧会 千葉県移動美術館(仮称)会場②さわやかちば県民プラザ(調整中) 8月下旬～9月上旬(調整中)		
展覧会	おんじゅく楽多展(仮称) 未定		●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
展覧会	あつと驚く昔の教科書展(仮称) 未定		その他イベント等 さくらまつり 4月5日、6日		
●鴨川シーワールド	講演会・講座等 動物友の会 月例会	TEL 04-7093-4803	その他イベント等 春のまつり 5月3日～5日		
講演会・講座等	4月19日、26日、5月17日、24日、6月21日、28日、7月12日、19日、8月23日、30日、9月20日、27日		その他イベント等 むらの縁日・夕涼み 8月16日、17日		
講演会・講座等	サマースクール 7月22日～25日、28日～31日		●千葉市科学館	TEL 043-308-0511	
講演会・講座等	ジュニアトレーナー 6月8日、15日、22日、29日、7月6日		展覧会 春の企画展「見えない音のひみつを探れ!」レミファ調査隊♪ 開催中～4月6日		
●鴨川市郷土資料館	展覧会 ミニ収蔵展「端午の節句」 4月19日～5月25日(予定)	TEL 04-7093-3800	●千葉市美術館	TEL 043-221-2311	
展覧会	輪廻のラグランジェ展(仮称) 7月～9月(予定)		展覧会 企画展「光琳を慕う-中村芳中」 4月8日～5月11日		
●君津市立久留里城址資料館	その他イベント等 歴史体験 よろい武者に変身! 5月3日～5日(予定)	TEL 0439-27-3478	展覧会 企画展「水彩画家 大下藤次郎展」 5月20日～6月29日		
●航空科学博物館	展覧会 成田空港飛来機展 4月1日～5月25日	TEL 0479-78-0557	展覧会 企画展「江戸へようこそ!浮世絵に描かれた子どもたち」 7月8日～8月31日		
その他イベント等	飛行機工作教室 4月26日、27日		●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
講演会・講座等	やさしい航空のはなし「客室乗務員のおはなし」 5月25日		その他イベント等 鎧やむかしの着物の着用体験 4月12日、5月10日、6月14日、7月12日、9月13日(予定)		
●国立歴史民俗博物館	展覧会 企画展示 歴史にみる震災 開催中～5月6日	TEL 043-486-0123	その他イベント等 鎧づくり体験講座 7月23日～25日(予定)		
展覧会	弥生ってなに?! 7月15日～9月15日		展覧会 ミニ企画展(仮)大賀ハス展 6月中旬～8月下旬		
展覧会	伝統の朝顔(付属施設「くらしの植物苑」にて) 7月29日～9月15日		●長南町郷土資料館	TEL 0475-46-1194	
●佐倉市立美術館	展覧会 佐倉・房総ゆかりの作家たち-工芸(仮称) 開催中～5月18日	TEL 043-485-7851	展覧会 長南袖風展～あがれ袖風五月の空に～ 5月1日～6月1日		
展覧会	佐倉・房総ゆかりの作家たち-戦後の絵画(仮称) 5月24日～7月13日		●DIC川村記念美術館	TEL 043-498-2131	
展覧会	佐倉学 浅井忠展(仮称) 8月2日～9月7日		展覧会 コレクション♡リコレクション VOL.3 山口長男 コレクションは語る 開催中～6月29日		
●山武市歴史民俗資料館	展覧会 伊藤左千夫生誕150年記念事業 4月5日～9月21日	TEL 0475-82-2842	展覧会 五木田智央展 8月31日～12月24日		
講演会・講座等	企画展示「左千夫の世界」 望郷哀歌(たんか) 9月13日		●流山市立博物館	TEL 04-7159-3434	
その他イベント等	「人間左千夫」「短歌左千夫」 9月14日		展覧会 千葉県北西部地区文化財巡回展 文化の絆～モノとトの出会い 開催中～5月18日		
●城西国際大学水田美術館	展覧会 水田コレクション新収蔵品展 4月8日～26日	TEL 0475-53-2562	展覧会 流山のみりん200年記念展(仮称) 7月16日～9月23日		
展覧会	浮世絵でたどる房総の旅(仮称) 6月3日～28日(予定)		●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774	
●館山市立博物館本館	展覧会 収蔵資料展<本館>「関東大震災と館山」 7月19日～8月31日	TEL 0470-23-5212	展覧会 収蔵優品展-劉蒼居を中心として/第30回成田山全国読書展 4月1日～20日		
展覧会	青木繁「海の幸」オマー・ジュ展<渚の博物館> 8月5日～31日		展覧会 第61回千葉県書道協会展 5月3日～6月15日		
展覧会	里見氏安房国替400年特別展第1期<本館> 9月6日～10月19日		展覧会 千葉県美術会代表作家展 6月21日～7月21日		
	「里見氏の遺産-城下町館山-東京湾の湊町-」		●成田羊羹資料館	TEL 0476-22-2266	
			展覧会 第22回企画展 成田市市制60周年記念 「広報なりた」と米屋で見る60年(仮称) 4月1日～9月末		
			●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851	
			展覧会 野田に生きた人々 その生活と文化2014 4月5日～7月上旬		
			展覧会 野田と漫画(仮称) 7月下旬～9月下旬		

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661		●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181	
展 覧 会	第5回アンデルセン公園きりがみ展 -コンクール作品展示と切り紙の魅力-	4月6日～5月6日	展 覧 会	館蔵資料展 錦絵にみる富士山	4月26日～6月8日
展 覧 会	「大海原に旅に出る」一ツ山チエ	5月17日～6月22日	展 覧 会	館蔵資料展 純文人の祈りとメッセージ	7月19日～9月15日
展 覧 会	「秋山孝inふなばし 2014」	6月28日～8月3日	●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
●平成美術館	TEL 047-473-1210		展 覧 会	古典美の探求者 林功 日本画展	開催中～5月26日
展 覧 会	世界やきもの展	5月1日～24日	講演会・講座等	林功 日本画展 学芸員による作品鑑賞会	4月13日
展 覧 会	大名時計展	6月1日～22日	●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011	
展 覧 会	日本書画幅展	9月3日～22日	展 覧 会	第1回企画展	4月26日～6月15日
●睦沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290		その他イベント等	博物館子ども体験教室	6月29日
講演会・講座等	第20回時速4kmで確かめる日本の歴史 「地域再発見」睦沢町上市場地区」	4月19日	展 覧 会	第2回企画展	7月19日～8月31日
講演会・講座等	第12回房総の文化財探訪	5月24日	●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494	
講演会・講座等	第32回歴史学講座「睦沢町の関東大震災」	8月23日	展 覧 会	赤坂むつ子彩繡展-和洋学園受贈記念-	4月3日～6月16日
			展 覧 会	辻切りの民俗-国府台の薬籠-	4月3日～5月下旬

詳細は直接館にお問い合わせください。

賛助会員の
近藤 正氏が
表彰

千葉県博物館協会賛助会員の近藤 正氏が、民俗学上の業績と、昭和51年より東金市文化財審議会委員（平成18年より同会長）として本県の文化財保護に寄与した功績などから、千葉県教育委員会より平成25年度千葉県教育功労者表彰（芸術文化の部）として表彰されました。このたびは誠におめでとうございます。

千葉市美術館

平成26年4月8日(火)～5月11日(日)

「光琳を慕う—中村芳中」

江戸時代後期に大坂を中心に活動した絵師、中村芳中（?～1819）。南画風の山水や指頭画を描いた後、尾形光琳の画に傾倒し、たらし込みを駆使した作品を描くようになりました。享和2年（1802）には『光琳画譜』を出版し、ぼつりしたかたちのほほえましい作品を多く残しました。

本展では尾形光琳から中村芳中に至る琳派の画家、当時の大坂画壇の作品を併せた約230点を展示し、これまでの成果を踏まえて、中村芳中の世界に多角的に迫ります。

- <開館時間> 10:00～18:00（金・土曜日は10:00～20:00）※入場は閉館の30分前まで
- <休館日> 4月21日(月)、5月7日(水)
- <入館料> 一般1,000円、大学生700円、高校生以下無料



中村芳中「白梅図」
千葉市美術館

城西国際大学水田美術館

平成26年4月8日(火)～26日(土)

「水田コレクション 新収蔵品展」



上村松園《美人納涼図》絹本着色、一面、昭和初（1925～34）頃

学校法人城西大学創立者の水田三喜男が収集した肉筆浮世絵、近代日本画など、水田家より新たに寄贈された作品をお披露目いたします。なかでも、江戸中期の美人画家、宮川長春による《江戸風俗図巻》は、歌舞伎小屋と吉原での遊興を描いた華やかな絵巻で、長春の代表作といえる作品です。その他、上村松園、鏑木清方、伊東深水による近代美人画の優品も加わり、コレクションがより一層豊かなものになりました。保存状態がよく、当初の鮮やかな色彩が今に伝わる珠玉の作品をお楽しみください。

- <開館時間> 10:00～16:00 <休館日> 日曜・月曜日
- <入館料> 一般300円、高校生以下無料

日誌抄

事務局

■第1回役員会

平成25年12月20日（金）10時～11時

場所／八千代市立郷土博物館

内容／平成25年度事業の中間報告総会

研修委員会

■第3回委員会

平成25年10月18日（金）14時～15時

会場／千葉県立美術館

内容／①平成25年度研修会のまとめおよび反省

②平成26年度研修会について

③その他

■第4回委員会

平成26年1月31日（金）14時～16時

会場／千葉県立美術館

内容／①平成26年度研修会について

②その他

広報委員会

■第3回委員会

平成26年2月7日（金）14時～17時

会場／千葉市美術館

内容／①平成26年度事業計画および予算について

②『ちばの博物館』133号の編集・入稿

調査研究委員会

■第1回視察

平成25年9月6日（金）9時～16時

場所／成田羊羹資料館・千葉経済大学地域経済博物館

内容／研究報告会に向けての情報収集及び報告等依頼要請

■第3回委員会

平成25年10月24日（木）10時～12時

場所／八千代市立郷土博物館

内容／①研究報告会の報告者・コメンテーターの選定について

②研究報告会の役割分担について

③研究報告会の日程調整について

■第2回視察

平成25年11月7日（木）13時～15時

場所／和洋女子大学文化資料館

内容／研究報告会に向けての情報収集及び報告等依頼要請

■第4回委員会

平成25年12月20日（金）10時～12時

場所／八千代市立郷土博物館

内容／MUSEUMちば第43号の執筆分担について

■研究報告会

平成25年12月20日（金）13時30分～16時30分

場所／八千代市立郷土博物館

内容／①演題「博物館・美術館が地域にできることー協働・共生を目指してー」

②基調報告

1 大学と博物館の連携の現状と課題 東京成徳大学 青柳隆志氏

2 大学博物館活動と地域連携 和洋女子大学 駒見和夫氏

3 企業博物館と地域連携の課題 米屋株式会社 宮内智氏

③質疑応答

地域振興委員会

■第2回委員会

平成25年10月11日（金）10時～12時

場所／千葉県立現代産業科学館

内容／千葉県立中央博物館と連携した文化庁補助事業

「博物館収蔵資料を次世代に引き継ぐシステム

構築」事業（以下、「資料救済事業」）における

地域ブロック分け案について

■第3回委員会

平成25年11月中旬

場所／電子メール会議

内容／「資料救済事業」における、災害時の情報・命令のフロー案について

■第4回委員会

平成25年12月13日（金）13時～14時

場所／千葉県立中央博物館

内容／①「資料救済事業」の報告書案の構成について

②国際博物館の日ポスターの作成について

■第5回委員会

平成26年2月6日（木）13時～14時

場所／国立歴史民俗博物館

内容／①「資料救済事業」の報告書案について

②次年度の事業計画について

編集後記

『ちばの博物館』133号をお届けいたします。情報、原稿をお寄せいただきました各館の皆様には御礼申し上げます。東日本大震災より3年となりますが、資料救済体系構築実行委員会を中心とした方々のご尽力により、県内館園のブロック分け、レスキュー体制など、資料救済ネットワーク草案がまとめられました。近隣館との交流など、このプロジェクトが実のあるものになるよう、日頃より心がけていきたいと思っております。（堀内）